

会 議 名	第 17 回 港区景観審議会
開 催 日 時	平成 29 年 7 月 25 日 (火曜日) 午後 6 時 00 分から午後 7 時 30 分まで
開 催 場 所	区役所 9 階研修室
委 員	(出席者) 齋 藤 潮 会長 杉山 朗子 副会長 池邊このみ 委員 大倉 富美雄 委員 倉田 直道 委員 沼田 麻美子 委員 岡元 隆治 委員 八木 嘉也 委員 唯是 一寿 委員 (欠席者) 宮脇 勝 委員
	(臨時委員：港区景観アドバイザー) 藤野 珠枝 氏 吉田 慎悟 氏 蓮池 ゆう子 氏
事 務 局	街づくり支援部長、街づくり事業担当部長、都市計画課長、開発指導課長、街づくり計画担当係長・係員、景観指導係長・係員
傍 聴 者	3 名
会 議 次 第	1 開会 2 議事 報告事項 (1)平成 29 年度港区景観表彰について (2)第 16 回港区景観審議会でのご意見に対する「港区屋外広告物景観形成ガイドライン(素案)」の対応について 3 その他 4 閉会
配 付 資 料	資料 1 平成 29 年度港区景観表彰の結果について 資料 1-2 区民景観セレクションの課題と今後の方向性について 資料 1-3 今後の表彰スケジュールについて 資料 2 第 16 回港区景観審議会でのご意見に対する「港区屋外広告物景観形成ガイドライン(素案)」の対応について 資料 2-2 主な修正点の前後比較

会議の結果及び主要な発言

2 議事

報告事項（1）平成 29 年度港区景観表彰について

事務局

（説明）

会長

区民景観セレクションについて、次回のテーマを確定するための議論はどのよう  
に行う予定か。

事務局

区でテーマ案を検討した上で、公募の実施前に景観審議会を開催し、意見をいた  
だいた上で確定したいと考えている。

A委員

資料には、選定された景観について、応募者の推薦理由のみが記載されているが、  
これだけでは、なぜこれらの景観が選定されたのかが分からない。審査会でどの  
ような評価を受けて選定されたのか。

事務局

選定された景観については、各委員から評価コメントをいただき、今後パンフレ  
ット等を作成する際に掲載していく予定である。本日の審議会では評価コメント  
が間に合っておらず、取り急ぎ結果報告という形でお許しいただきたい。

B委員

応募写真については最終的に差し替える可能性があるということだが、応募者側  
からすると、応募写真が公表されないことに不満を感じるのではないか。

事務局

募集時の注意事項として、応募した写真が公表されるとは限らない旨を記載して  
いる。可能な限り応募写真も掲載しつつ、複数枚の写真を掲載したいと考えてい  
るが、表彰選定審査会での議論も踏まえ、応募写真を使用しないことも有り得る。

A委員

写真に映された絵姿が良いのか、現実のシークエンスの景観が良いのかという課  
題が残る。今回の予備選定でも、写真を元に審査を行うということであったが、  
応募者の推薦理由を見ても、写真と必ずしも結びついていない。評価、審査の仕  
方については整理が必要であろう。

会長

表彰選定審査会では、必要と思われるものは現地を確認した上で審査を行った。  
応募者の推薦理由は、公表時に必ず掲載しなければならないという規定があるの  
か。

事務局

そのような規定は無い。

<u>C委員</u>	応募者が付けたタイトルについては、行政から発信するものとして適しているかどうか、客観性を持って精査した方が良いと思う。例えば、「芝浦の景観を担うメタセコイヤ」などは、これを「芝浦」の景観を担っていると言い切ることに疑問がある。
<u>A委員</u>	動的な景観を評価したとするならば、予備選定時と異なる。推薦理由を元に選ぶのであればそれは良いが、写真は変えた方が良い。
<u>C委員</u>	例えば「すっきり素敵な散歩道」というタイトルは、今回採用されたことで専売特許になってしまうのか。少なくとも、タイトルには場所が入っていた方が良いと思う。
<u>D委員</u>	推薦理由は文章が長すぎる。今回選定されたものについて異論は無いが、地名は入れた方が良いであろう。 そもそも、表彰の実施にあたって、今あるまちのステータスや資産価値を保っていくなど、何をどうしようという目的がもっとクリアになっているべきである。
<u>事務局</u>	次回から、推薦理由については文字数制限をかけていきたい。また、タイトル、写真は適切なものに変える方向としたい。
<u>会長</u>	推薦理由は、事務局で編集すれば良いと思う。今回のタイトルも変更できないか。
<u>事務局</u>	募集時にその旨を記載していない。
<u>E委員</u>	今後作成するパンフレットは、景観街づくり賞と区民景観セレクションで別々になるのか。
<u>事務局</u>	まとめて一つのパンフレットを作成する。
<u>E委員</u>	パンフレットに何が掲載されるかはまだ未確定だと思うが、それぞれ場所が分かる地図を掲載した方が良いと思う。
<u>事務局</u>	今の議論を踏まえ、地図を載せることとし、タイトルよりも場所をまず選んだという形で編集をしたい。
<u>D委員</u>	グランプリの場所の、ガーデンヒルズ側の歩道は港区か、それとも渋谷区なのか。

事務局	道路が渋谷区との区境になるが、道路管理は港区が一体的に行っている。
E委員	皆さんタイトルにこだわりがあるように思うが、タイトルは応募者の推薦理由とセットにして、選定場所を客観的に地図で表現するという事でレイアウトを工夫すれば、選定委員と応募者双方の気持ちを踏まえた編集になるので、検討してはどうか。
事務局	今日の議論を踏まえて、地図を載せる、より良い写真を事務局で選定する、コメント・タイトルは編集するという方向で、具体的な方法は事務局で決めさせてもらうということで良いか。
F委員	<p>応募者は自分なりに考えてタイトルや推薦理由を記載しているのであろうが、受ける側としては実際に現地の場所を選ぶのであるから、そこにこだわる必要はないと思う。今回は応募32件の中で本当に「街並み・街かど」に該当するものがあるのかということが非常に大きい問題であり、議論を呼んだと感じた。タイトルや推薦理由の扱いが明確でない中、写真展のような感覚で応募した方もいると思う。もう少し中身を詰めていかないと、毎回選定が難しくなる。</p> <p>また、応募数が少なかった。もっと港区には、良い景観がたくさんあると思うが、応募のないものを選ぶわけにはいかない。</p>
会長	編集結果は私に見せてもらいたい。
事務局	了解した。編集結果は、委員長に相談する。
<p><b>報告事項（2）第16回港区景観審議会でのご意見に対する「港区屋外広告物景観形成ガイドライン（素案）」の対応について</b></p>	
事務局	（説明）
会長	紙面のレイアウトの美しさを損なわずに、どのように分かりやすくするかということで、編集も大変だったと思う。改めて質問、意見など伺いたい。
C委員	「個性」よりも「特性」という言葉の方が適切ではないかというのは、「地域の個性を生かした魅力ある街並みを育む」という見出しのことを指して言ったつもりである。地域の特性であれば分かるが、地域の個性とは何を指すのか。
事務局	地域の皆さんが街づくりに取り組んでいった中であらわれてきた地域固有の特徴と理解している。例えば青山通りであれば、こういったデザインされた広告が多

	<p>数見受けられる傾向があり、それが地域の個性になってきている。また六本木であれば、こうした派手な赤いネオンの広告が六本木ではなぜかなじんでしまうというのも、皆さんが街づくりに取り組んできた結果としての個性ではないかと理解している。</p>
<u>C委員</u>	<p>青山と六本木については何となく分かるが、南麻布のD e n t a lの広告などは、南麻布の個性になるのか。「地域の特徴を生かした」という方が文章として正しいように思う。地域の個性というのは、漠然としたものは分かるが、そうした概念で地元住民に共有されているものがあるのか。おそらく、「個性的な街づくり」というような言い方をしたいのではないか。</p>
<u>D委員</u>	<p>港区景観計画の中の基本方針として「地域の個性を生かした魅力ある街並みを育む」という一項があり、その中に、様々なことが書いてある。一言で言うと、港区は都会的で、おしゃれな感じのものが港区の地域の個性というぐらいの意味合いなのではないかと思っている。</p>
<u>E委員</u>	<p>私は、地域性を重要視した色彩計画を勧めている。先ほど青山や六本木は何となく分かるという発言があったが、その何となくというのが大変重要で、そういうものが共通に醸成されて地域性となっている。ただ、言葉にすることは確かに難しい。そういった意味で言うと、南麻布のD e n t a lを外せば分かるのではないか。</p>
<u>C委員</u>	<p>南麻布らしくはないように見える。</p>
<u>E委員</u>	<p>看板自体はおしゃれだが、南麻布らしさと言われると、お屋敷街などもう少し違う表現になるのではないか。</p>
<u>会長</u>	<p>景観計画の基本方針とリンクしている以上、リンク元をどうするかということも含めて検討する必要があるだろう。今回意見として伺っておき、改めて、大もとのほうを見直すときに合わせて検討してはどうか。</p>
<u>E委員</u>	<p>「個性」という言葉と「特徴」、「特性」という言葉では意味合いが大きく違うので、「特性」、「特徴」という言葉を使うとしたら、十分な検討が必要ではないか。</p>
<u>C委員</u>	<p>「地域の個性」というものが、芸術的な表現としてはあるかもしれないが、日本語として、行政の施策名として正しいのかということである。</p>
<u>会長</u>	<p>今後、検討のタイミングを合わせて議論したい。</p>

F 委員	「港区らしい街並み」とはどのようなものを想定しているのか。例えば区民景観セレクションでも、審査基準の中で港区らしいという観点があるが、何か明確なものがあるのか。
事務局	海があつて、川があつて、商業地があれば住宅地もあつて、にぎわいのある、風格のある緑もあるという、その多様性が港区らしい街並みと理解している。多様性がある街並みで、かつ質の高い広告が多くあり、その高い次元に街並みを引き上げていくというのが、この表題の内容だと理解している。
F 委員	それは港区だけの特徴なのか。
E 委員	私は 23 区を歩いているが、例えば文京区ではファッションブティックのような景観は無い。そう考えると、このようなファッションナブルなお店、看板をセレクトしていく中で、何らかの港区らしさを表現しているように思う。
C 委員	様々な場面で感じることだが、区民として認識しているものと、外から見た港区の間にギャップがあるのではないかと。おそらく、委員の意見は外から見た港区に対するイメージであつて、我々のような生活者の思う港区というのは少し違ったものである。その両方を合わせて港区らしいと言っているのか、一方をとって言っているのか、行政のほうで立ち位置を決めたほうが良いのではないかと。あるいは、そういう雑駁な概念全部を総称して港区らしいと言う方法もあろう。これは景観だけでなく、全ての政策・施策に共通することだと思ふ。
F 委員	「～らしい」というのは使いやすい言葉である。そういう言葉を安易に使うのではなくて、もう少し表現を考えても良いのではないかと。
D 委員	「港区らしい街並みを育む」という言葉の中には、港区の地価の今の高さとお高くとまっている感じがあるというのが入っている。そのいやらしさも含めて、人によっては何とも鼻持ちならない表現を港区の特典として押し出していこうという気概があれば、立派なものだと思ふ。
会長	あまり下品な方法や安っぽい方法はやめようと思ふが、どういうものが下品であり、安っぽいという例を出すと差し障りがあるので、逆の方向に引っ張っていこうとしているわけであらう。
C 委員	そういうことであらう。ガイドラインそのものが屋外広告業者や建築業者向けであり、区民である私たち生活者が好んで見るものではない。

事務局	様々な立場の人に分かりやすいようには作成している。ホームページでダウンロードもできるようにする。
E委員	「2【共通】屋外広告物のデザインの配慮事項」の中にある写真で、前に指摘した通り、デザインとしては悪くないが、フラッグと壁面サインの色が異なるため推奨したくないものがある。再考してもらうことは可能か。
会長	同じ趣旨で、候補となるような店の写真はあるか。
事務局	影になっている影響もあるため、角度を変えるなど、同じ色合いに見えるような写真を検討したい。
事務局	<p><b>3 その他</b></p> <p>池邊委員、宮脇委員、八木委員、唯是委員については、今回の任期満了をもって退任となる。これまで多くの貴重な意見をいただき、改めて深くお礼を申し上げる。</p>
事務局	<p><b>4 閉会</b></p> <p>次回の港区景観審議会は、10月中旬頃で予定している。</p>
	閉会